

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年9月19日

【2017年9月9日～2017年9月15日までの推移】

【1】先週の回顧

先週レアルは、対円では上昇しましたが、対米ドルでは下落しました。2年国債金利は低下しました。

テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑に関わる重要証人であったブラジル食肉加工会社JBSのバチスタ氏が身柄を拘束されました。これを受け、テメル大統領による社会保障改革の実現可能性が高まったとの見方が広がり、ブラジルの株式市場・債券市場は上昇しました。

米国においてハリケーンの被害が予想されていたほど大きく出なかったことや税制改革の進展期待などから米ドルが上昇し、レアルは対米ドルでは下落しました。一方で、北朝鮮建国記念日に挑発行動が無かったことで地政学リスクが一旦低下し円安となったことで、対円ではレアルは上昇しました。

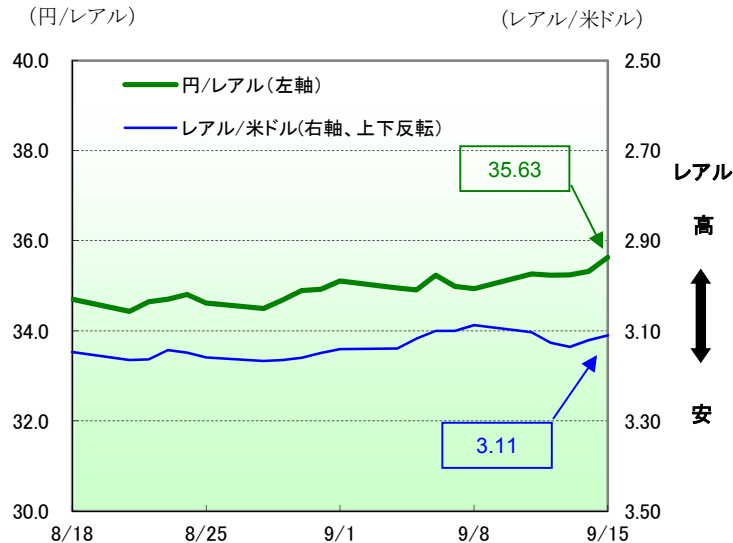
【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標の発表があります。インフレ率の上昇は抑制されることが見込まれていますが、市場予想を超えて低いインフレ率となった場合は、利下げ観測が高まると想定します。

汚職疑惑問題をめぐり、テメル大統領は2回目の起訴をされました。最高裁判所での審理開始を判断する国会の採決は否決になると見込まれていますが、社会保障改革法案の審議・採決が先送りされる懸念があります。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

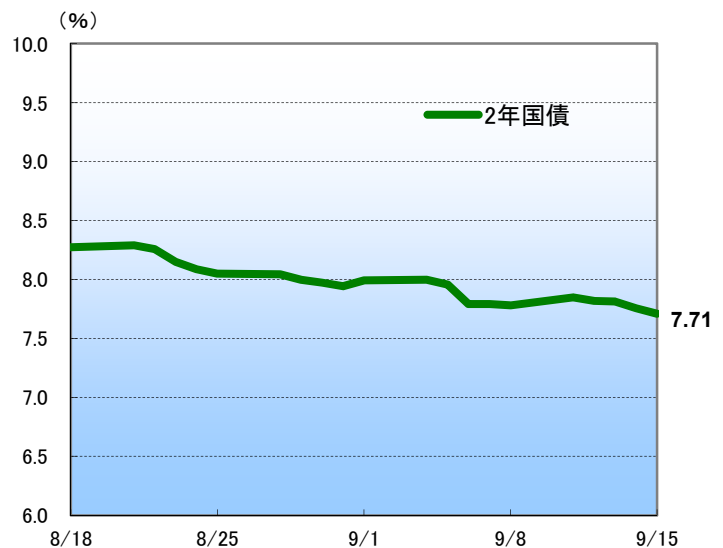
政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年8月18日～2017年9月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年8月18日～2017年9月15日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management